

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-Gas 003-9.0
改訂： 2025-11-12
製造所識別コード Radiometer SDS Gas 003 (EU/EN 6.0)

ページ数 1/4
初版： 2011-07-31

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品番号・製品名： ① J962-176 Cal1 ガス 【ABL800 シリーズ用】
② J962-177 Cal2 ガス 【ABL800 シリーズ用】

容器サイズ ① 内容積：950mL、内容量：25L、圧力：2.7MPa
② 内容積：950mL、内容量：10L、圧力：1.01MPa

推奨用途：

供給者に関する情報

血液ガス分析装置/経皮血液ガスモニタの校正用ガス
販売元：ラジオメーター株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35
電話： 03-4331-3500

製造元：エアガス スペシャルティ ガス社 (Airgas Specialty Gases Inc.)
9851 Widmer Road Lenexa, KS 66215, USA
ラジオメーターメディカル社 (Radiometer Medical ApS)
Aakandevvej 21 DK-2700 Broenshoej, Denmark
ホームページ：www.radiometer.com

2 危険有害性の要約

GHS/CLP 分類：
GHS ラベル要素

高圧ガス：H280



注意喚起語：

危険有害性情報：

注意書き：

警告

H280：高圧ガス：熱すると爆発するおそれ。

P410+P403：日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

P412：50 °C以上の温度にばく露しないこと。

P210：熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物

％：	CAS 番号：	化学名：	危険有害性 ID
① 74.64 ②88.78	7727-37-9	窒素	高圧ガス：H280
① 19.76 ②0	7782-44-7	酸素	酸化性ガス 1：H270, 高圧ガス：H280
① 5.6 ②11.22	124-38-9	二酸化炭素	高圧ガス：H280

4 応急措置

応急措置の詳細：

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-Gas 003-9.0

ページ数 2/4

J962-176 Cal1 ガス/ J962-177 Cal2 ガス【ABL800 シリーズ用】

吸入した場合： 暴露された者を新鮮な空気の場合に早急に移す
皮膚へ付着した場合： 応急処置は特に求められていない。
眼に入った場合： 応急処置は特に求められていない。
飲み込んだ場合： 製品の形態から、可能性は低い。応急処置は特に求められていない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状/影響： 応急処置は特に求められていない。

5 火災時の措置

適切な消火剤： 周囲の材料に適した消火剤を使用する。熱にさらされた容器を散水で冷却し、危険でなければ容器を取り除く。

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災時特有の危険有害性： 高圧ガスであるため、ガス容器は加熱されると激しく破裂することがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 一般的な火災対策に従う。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置： 換気が不適切な場合は、呼吸保護装置を使用する。

環境に関する注意事項： 使用量が少ないため、本製品では関係しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 蒸発させる。十分に換気する。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

安全な取り扱いのための注意事項： ガス容器は、転落、転倒等を防止する措置を講じ、かつ衝撃を加える等の粗暴な扱いをしないこと。

ガス容器の減圧弁等の操作は丁寧に行い、過大な力を掛けないこと。

保管

安全な保管条件： 換気のよい涼しい場所に貯蔵する。熱源付近または高温に暴露される場所に貯蔵してはならない。直射日光から保護する。40°C以上の所には保管しないこと。

8 ばく露防止及び保護措置

濃度基準値

化学名	職業性暴露限界	リファレンス
二酸化炭素 (124-38-9)	5000 ppm または 9000mg/m ³	JSOH

設備対策： 適切な換気を行うこと。作業暴露限度を守り、吸入のリスクを最小限に抑える。

保護具

呼吸用保護具： 換気が不十分な場合は、空気供給式フルマスクを使用する。

手の保護具： 個人用保護具の供給者と協議の上、選択する。

眼の保護具： 特になし。

衛生対策： 特になし。

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-Gas 003-9.0
 J962-176 Cal1 ガス/ J962-177 Cal2 ガス【ABL800 シリーズ用】

ページ数 3/4

9 物理的及び化学的性質

物理状態：	気体	pH：	情報なし
色：	無色	動粘性率：	情報なし
臭い：	刺激臭	溶解性：	情報なし
融点／凝固点：	情報なし	n-オクタノール／水分配係数 (log 値)：	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	情報なし	蒸気圧：	情報なし
可燃性：	情報なし	密度及び／又は相対密度：	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	情報なし	相対ガス密度：	情報なし
引火点：	情報なし	粒子特性：	情報なし
自然発火点：	情報なし	その他のデータ：	情報なし
分解温度：	情報なし		

10 安定性及び反応性

反応性：	知見なし。
化学的安定性：	安定。
危険有害な反応の可能性：	知見なし。
避けるべき条件	高温または直接日光への暴露を避ける。
混触危険物質：	知見なし。
危険有害な分解生成物：	知見なし。

11 有害性情報

急性毒性

急性毒性 (経口) (経皮)	分類できない	生殖毒性	分類できない
皮膚腐蝕／刺激性	分類できない	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
呼吸感受性または皮膚感受性	分類できない	誤嚥有害性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	吸入	高濃度の場合：呼吸困難、発汗、重度の呼吸障害、頭痛、めまい
発がん性	分類できない		

12 環境影響情報

生態毒性	容器の大きさを考慮すれば、環境への有害性はわずかと見なされる。
残留性・分解性	本製品には関係していない。
生物蓄積性	生体内に蓄積しない。
土壌中における移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

13 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法	ガス容器及び残留物は、廃掃法及び各自治体のルールに従って、産業廃棄物として処理すること。ガス容器を、焼却したりしないこと。 ガス容器は、使い捨てなので、最充填、再使用はしないこと。
----------	---

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-Gas 003-9.0
J962-176 Cal1 ガス/ J962-177 Cal2 ガス【ABL800 シリーズ用】

ページ数 4/4

14 輸送上の注意

危険物輸送に関する国際規制

国連番号： 1956
国連正式輸送品目名： COMPRESSED GAS, N.O.S (Nitrogen, Oxygen)
輸送危険物分類： 空路 (ICAO/IATA) :2.2
包装等級： 本製品には関係していない。
環境への危険有害性： 本製品には関係していない。
ユーザーに対する特別な注意事項： 不明。
マルポール条約 73/78 の付属書IIおよびIBC コードに準拠するバルク輸送
バルク輸送： 本製品には関係していない。

15 適用法令

本物質または混合物に固有の安全、健康、環境関連規則/法規

<国内法>

化学物質排出把握管理促進法

(PRTR 制度)： 該当しない

労働安全衛生法： 名称等を表示すべき危険物及び有害物【 R8.4.1 以降】

化学物質または一般名	整理番号
窒素	2-1232 (2026-04)
酸素	2-634 (2026-04)
二酸化炭素	2-1463 (2026-04)

毒物及び劇物取締法： 該当しない

火薬類取締法： 該当しない

高压ガス保安法： 該当 (常温で圧力が1メガパスカル以上の圧縮ガス)

消防法： 該当しない

化審法： 該当しない

船舶安全法： 該当 (危険則第3条 危険物等級 2.2 高压ガス)

航空法： 該当 (規則第194条 危険物 高压ガス)

港則法： 該当 (規則第12条 危険物 高压ガス)

食品衛生法： 該当 (指定添加物)

水質汚濁防止法： 該当しない

土壌汚染対策法： 該当しない

海洋汚染防止法 施行令： 該当しない

<国内規格>

JIS Z 7253:2019：GHS に基づく化学品の有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

16. その他の情報

使用者は、適切な作業手順を指導され、本取扱説明書の内容を熟知していなければならない。

引用文献および参照ホームページ等

NITE 化学物質総合情報提供システム：[メニュー - NITE-CHRIP \(NITE 化学物質総合情報提供システム\)](#)

本データシートに記載されている情報は、当社の改訂日現在のデータです。本製品が所定の条件下で、パッケージあるいは技術ガイダンス資料で指定されている用途に従って使用される場合に限り、信頼できるものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合や、他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任となります。